

♡ 言葉かけ についてのお話



「何度言っても聞いてくれない」「好奇心が強く、やってほしくないことばかりする」そんな時、お母さんたちのイライラはピークに…。ついつい怒りすぎてしまうというお母さんたちの声をよく耳にします。

今回はそんな「イライラ」の軽減につながるかもしれないお子さんへの言葉かけについてのお話です。



子どもに伝わりやすい話し方

「あっち」「こっち」「そんなこと」

「ちゃんと…」「いいこにする」

ついつい大人が口にする言葉ですね。でも、この言葉は曖昧で具体的にどうすれば良いのかが子どもに伝わりません。お子さんが小さいうちは、できるだけわかりやすい言葉を使い、何をどうすれば良いのかを具体的に伝えましょう。



「あっちに置いておいて」



OK

ブロックは黄色の箱にお片付けしてね



「早くお風呂に入りなさい!」



OK

今からお風呂に入るよ。
お風呂から出たら一緒に〇〇しようね!



やる気アップ!



自主性を育てる声掛け

いつも大人が「～しなさい」と指示するのでは、なかなか言うことを聞いてくれません。自主的にやろうという気持ちがもてるような声掛けをしましょう。

また、それができたら次にどんな楽しいことが待っているのかを伝えましょう。意欲的に行動できるはずです。



子どもが何かをやりたくて困ったときには
どうしたらいいの？

まずは可能・不可能にかかわらず、子どもの気持ちを「〇〇したいのね、わかったよ。」と受け入れてみてください。「何でも許す」のではなく「あなたがやりたいと思う気持ちがわかった」と伝えるためです。「〇〇したいのね、わかったよ。」と言葉をかけたあとに「〇〇してからね。」「あと〇分待ってね。」と条件をつけ加えることで、自分の望みを叶えるために条件をのむことを覚えるでしょう。徐々に条件を厳しくすることで、待てる時間や忍耐力も育つと思います。



約束をしたら必ず守ること！

ここで大切なのは、約束をしたら必ず守ることです。もし、その希望を叶えてあげられないときは、「ダメ」ではなく…

✔「今は〇〇するときだから〇〇してからにしようね。」

✔「〇〇は危ないから△△か□□ならいいよ。」

と選択肢を与え、子ども自身に選ばせることも良いでしょう。



繰り返しの言葉と

リズム がおもしろい

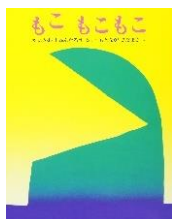
絵本



「とつとこ とつとこ」 まついのりこ 童心社



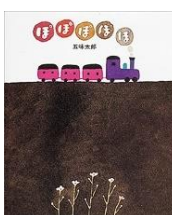
「ピンポーン」 中川ひろたか 偕成社



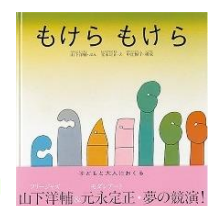
「もこ もこもこ」 谷川俊太郎 文研出版



「なーらんだ」 三浦太郎 こぐま社



「ぽぽぽぽぽ」 五味太郎 偕成社



「もけら もけら」 山下洋輔 福音社

